

数えきれない失敗

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年もうれしい事に日本人研究者がノーベル賞を受賞されました。生理学・医学賞の大村智先生と物理学賞の梶田隆章先生です。2年連続で日本人が受賞され、大変誇らしい限りです。(ちなみに昨年受賞された名古屋大学の天野教授は、同窓の1年後輩でした。)教科書のない世界



代表取締役社長 吉田治伸

で、自分で考えた仮説に対し、実験方法や実験道具まで考えたうえの輝かしい業績だと思つくと心から敬服いたします。そんな受賞者の方々が受賞に際し、恩師や協力者に対するお礼を第一に伝えていますが、それと同時に言われるのが「数えきれない失敗」です。彼らの話をお伺いすると、成功の反対は、失敗ではなく、成功に必要なものが失敗であり、成功の反対は「あきらめ」であるということです。

我々の仕事も同様です。もっとお客様にとって良いサービスにしよう、もっと効率的に同等以上のサービスをしよう、もっとたくさんの方が入社していただける会社になろう…という事は、たくさんチャレンジと失敗があつてはじめて成り立つものです。今年で創立以来60年を数え、たくさんチャレンジと失敗、そしてその結果の変化が我々を支えてまいりました。これからもどんどんチャレンジしたいものです。

良い季節になってまいりました。充実した日々をお過ごし下さい。